

箕面ユネスコ協会 ニュースレター

発行 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟
箕面ユネスコ協会事務局
〒562-0013 箕面市坊島 4-5-20
みのおキューズモール2Fみのお市民活動
センター内 箕面ユネスコ協会 (メールボックス)
E-mail sakappmm@skyblue.ocn.ne.jp



◆ 目次 ◆
○活動報告
○お知らせ

♪ホームページ折々に更新中!
「箕面ユネスコ協会」
で検索してください♡

Bar Bridge 素敵でした!

★★ 立ちよっていただきありがとうございました ★★



■ Bar Bridge

2022年9月17日かやのさんぺい橋(キューズモール)に期間限定でバーがオープンしました。「夜風を感じ、楽しいひとときを」ということで、箕面ユネスコ協会もブースに参加しました。

Bar Bridgeでは「復興グルメ」と称し、宮城県気仙沼や岩手県陸前高田の商品の紹介をさせて頂きながら、東日本大震災、遼れば、1.17阪神淡路大震災を通じ、「命の大切さや」被災しながらも復興のために頑張る現地の皆さんの思いなどを語る機会を得ることができました。立ち寄り頂いた皆様に感謝いたします。



バーブリッジは、期間限定で開催されるバーで、ドリンクを片手に好きなことを語り合い、お客様とふれあうイベントです。地元のレストランやバー、そして私たちのような箕面で活動するNPOが参加し、フードロスや復興支援についての情報を提供できる場でもあります。

あいにく台風の影響で天気が優れず、人通りが普段よりも少なかったのが残念でしたが、箕面ユネスコの活動である「気仙沼や真備への活動」「高校生とのボランティア活動」「東北ツアー」などの様子をパネルやモニターにてジャズ音楽とともに展示し、夜の雰囲気を楽しみました。

数少ないお客様と楽しくお話をしながら、坂口会長自慢の手作り夜食をいただきながら、ゆったりとした時間を過ごしました。たまにはまったりとしながら仲間同士で楽しく時間を使うこともよいなあと思いました…!お酒を飲むように見えるとひたすら人に言われますが、飲めないのが悲しすぎます(泣)。

(山田 祐加)

BAR BRIDGE

2022.9.16 FRI ~ 9.17 SAT 17:00-20:00

開催場所 かやのさんぺい橋 (小瀬渡行・雨天中止)

期間限定でかやのさんぺい橋にバーがオープン。ドリンク片手に、「好きなこと」を語り合いませんか? 夜風を感じ、楽しいひとときを。

9.16 FRI	9.17 SAT
booth 1 橋の下の公共空間を語るBar	booth 1 がんばれ! サントリー サンバーズBar 18:30-
booth 2 フードロスを考えるBar	booth 2 復興支援を語るBar
booth 3 かやの中央のこれからを語るBar	booth 3 いきものと自然を語るBar

お問合せ先 みのお市民活動センター TEL 072-720-3386



BAR BRIDGEに参加しました！ TAKE2@かやのさんぺい橋



かやのさんぺい橋で開催された Bar Bridge に参加しました。

はじめてこの取り組みを聞いたときは、シェイカーを振ってカクテルを出すのだろうか？「あちらのお客様からです」なんて言っちゃうのだろうか？などと勝手に想像していました。しかし、実際に行ってみると思っていたのと少し違いました。寡黙なマスターがいるわけでもなく、もちろんシェイカーも振りません。3つのブースとお酒とおつまみを販売するお店があり、様々な楽器の素敵な生演奏とともに、カウンターを

挟んで参加者とお話しするといった様子で、どちらかといえばスナックみたいだなと思いました。



そんな Bar Bridge で素敵な出会いがありました。箕面市内の吹奏楽サークルに所属されている方々です。東日本大震災の寄付金をコンサートで集めるなど復興支援に対して非常に積極的な団体のようで、被災地の人々とのつながりをどのように作り、継続させているのか教えてほしいという相談をいただきました。私が説明するには限界を感じたので、坂口会長にバトンタッチをして隣でお話を聞いていました。お話では PIER7 で演奏会をしたらどうか、どうせならヤマヨ食堂を訪れるツアーにすればどうかなどの提案があり、箕面ユネスコ協会のゆるやかなネットワークが広がる瞬間を目撃したような気がしました。私は写真を見せてお話をサポートすることしかできず不甲斐なかったです。その後は話しかけてくださった酔っぱらいの方に箕面ユネスコ協会について紹介したりしながら時は過ぎていきました。

おもしろくて楽しいイベントでしたが、あまり参加者がいなかったことだけが残念でした。次に参加する機会があれば、フリップなどの小道具を用意して、もっと積極的に話しかけに行こうと思います。次こそは、私自身が箕面ユネスコ協会のゆるやかなネットワークを広げていけるよう頑張りたいと思います。 **♡川本 実弥**



コロナとかの影響でしばらくの間ユネスコでの企画も少なかったのですが、久しぶりに萱野三平橋にて、ブリッジバーというイベントに参加させていただきました。来客者は知らない人が多かったのですが、色々とお世話になった方などとお話ができ良かったです。

私たちがやっている活動をひとつの団体に説明出来たものの、自分はあまり積極的に対話ができなかったと感じました。来られた方も全体的に少なかったので、今度はもう少し自信を持って呼び込みとかも頑張っていきたいと思います。 **♡Kane Harris**

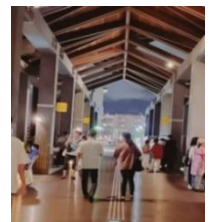
まだ 20 歳未満なのでお酒は飲めませんが、様々な人と交流を深めることができたので楽しかったです。

♡水野 晴翔

♥♥♥ ゲスト やまもとみかさん〜（立ち寄って下さったゲストさんからのメッセージ）

台風接近中で風も強くお天気も心配な日でしたが、箕面 BAR BRIDGE イベントに参加してきました。初めての参加で、どういった内容なのかもよくわからないまま友人と 4 人で向かったのですが、結果は楽しかった!の一言でした。会場に着くと普段は買物の時にただ歩くだけの通路が、ちょっとステキなイベント会場に早変わりしていたことにまずビックリ。用意して頂いていた椅子とテーブルをお借りして、東北の美味しい食べ物やお酒をいただきながら友人たちとほろ酔い気分でお喋りも盛り上がりました。

しばらくして日が暮れてくると、ランタンの温かい光が灯りだし、バイオリンやウクレレなどの心地良い音楽も聴こえてきてなかなかいい雰囲気。心もお腹も満たされて、とてもステキな時間を過ごすことができました。また周りに目を向けると、ブースの前で震災の体験談に熱心に耳を傾けている人、スタッフの方々と参加者が楽しく会話している様子が見られたことが印象的でした。また参加してみたいと思う素敵なイベントでした。



●箕面市立萱野小学校 4年生●
『十歳の心で見つめて～ひろげよう わたしの世界～』



萱野小学校4年生の子どもたちは、人権総合学習の中で、さまざまな場所や人と出会い、自分の生活を見つめ直したり、自分の気づきや考えを伝え合ったりする学習を重ねています。

箕面ユネスコ協会は、プランづくりから支援を継続しており、9月には、2組のゲストと子どもたちをつなげていただくことができました。授業風景を紹介いたします。

■ 箕面森林ふれあい推進センターのみなさんと（林野庁／近畿中国森林管理局）

9月初め、箕面森林ふれあい推進センターのみなさんが2日間にわたって学校を訪れ、森林の話を通して「環境を守る大切さ」を教えてくださいました。1クラスずつのゆったりとした出会いでしたので、子どもたちものびのびと質問することができたようです。丸太をのこぎりで切ったり、中庭で樹の名前を教えてもらったり、落ち葉の匂いを確かめたりといった活動も盛り込まれ、ふだんなかなかできない体験を楽しむ子どもたちの元気な声が体育館や中庭に響いていました。

〔 箕面森林ふれあい推進センターは、箕面ユネスコ協会と同じく、「ESD 活動支援センター／地域 ESD 活動推進拠点（近畿ブロック）」の一員として活動されています。 〕



♪台風で日程が変わる中、来校して下さったみなさん



♪紙芝居やパワーポイントを使って分かりやすく教えてくださいました



♪のこぎりを使って子どもたち自身が丸太を切ります。木の香りが満ちました

■ 木村佳友さんと（日本補助犬情報センター〈理事〉・日本介助犬使用者の会〈会長〉）

9月16日、木村佳友さんと介助犬デイジーが来校されました。坂口会長とわたしは、20年ほど前に木村さんと出会っています。当時、萱野小学校のPCT活動（parent/children/teacher）がPTA主導でスタートしており、坂口会長は、木村さんと当時の介助犬シンシアを萱野小に招いたことがあったのです。今回の機会を得て、久しぶりの再会を喜び合うことができました。体育館には、この企画を運営して下さった保護者の方々や参加者のみなさんが子どもたちとともに熱心にお話を聞いておられました。わたしたちも、普段の生活をビデオで見せてもらったり、デイジーのデモンストレーションに拍手したりと、子どもたちといっしょになって、授業を楽しませていただきました。



♪日々の生活の様子、考えてほしいことなどを具体的に話して下さいました



♪たくさんの子どもの前でも、堂々としているデイジー



♪木村さんの声掛けに従って、楽しくお仕事をしているデイジーでした

学びは「まち」へと広がっていきます。この出会いが今後に生かされることを楽しみにしています。（大濱淳子）

上島箕面市長を表敬訪問！地域に根差すユネス活動をアピール

箕面ユネスコ協会が、日本ユネスコ協会連盟の一員として 2013 年に発足し、10 年を迎えようとしています。今回、機会を得て、上島 一彦箕面市長、箕面市教育委員会 藤 迫 稔 教育長、藤村 彩夏子 副教育長、岡 裕美 ことも未来創造局長と面談することができました。



ユネスコ憲章のもとでの、これまでの箕面ユネスコ協会の活動と、これからの地域での取り組みについて、特に、生活困難な子どもの支援をする新たな取り組みについて箕面で何ができるかをお話しさせていただきました。

さらに、大濱淳子さん（箕面ユネスコ協会副会長）が昨年12月より日本ユネスコ国内委員に就任したことを報告しました。

【日本ユネスコ国内委員会】

我が国におけるユネスコ活動に関する助言、企画、連絡及び調査を行う機関として、ユネスコ活動に関する法律第6条に基づき、我が国の関係大臣（文部科学大臣、外務大臣等）の諮問に依りて、次の事項を調査審議し、これらに関して必要と認められる事項を関係大臣（文部科学大臣等）に建議（意見・希望）する機関です。】

● 帝塚山泉ヶ丘中学校・高等学校 「泉ヶ丘祭」での講演

9月22日、大阪府堺市南区晴美台四丁にある、私立の中高一貫教育校帝塚山泉ヶ丘中学校・高等学校の「泉ヶ丘祭」で講演を行いました。同時に、本年7月に行われた14回目の東北支援ボランティア「がんばろう！つばさネットワーク」に参加した生徒たちによる報告会も行われました。

— 帝塚山泉ヶ丘高等学校 岡 憲司 先生から —



9月22日の午前中に、文化祭の文系クラブ発表がありました。ユネスコ部・インターアクトクラブからユネスコスクール合同の「気仙沼ボランティア」に参加した生徒もいましたので、彼らが津波被災地で学んだことやボランティアとして活動したことについて発表しました。来場者に防災についての理解を深めてもらうための、防災クイズも実施しました。「気仙沼ボランティア」でコーディネーターとして尽力くださった箕面ユネスコ協会の坂口一美会長にお越しいただき、ユネスコと気仙沼についてのご講演をお願いしました。ユネスコ部員の他にも保護者、教員、一般の来場生徒が来てくれ、理解を深めることができました。坂口さん、ありがとうございました。



== おしらせ ==

■ みのおNPOフェスタ 2022年10月23日(日) 11:00~15:00

目的…市内で活動するNPOが公益活動の意義や魅力をアピールする。上映 NPO活動動画、昔の箕面の映像
展示…箕面ユネスコ協会は、東日本の被災地から届く品々をチャリティー物産展として市民のみなさんに届け
ます。市民の方々との協働を楽しみながら支援活動を知って頂き、つながりを広げていきましょう。

■ 2022 かやのお宝人權まつり 2022年10月29日(土) 10:00~15:00

地域で生活されるすべての人が「であい・つながり・げんき」になることを目的に開催します。箕面ユネスコ協会はチャリティー物産展と「気仙沼からの秋の味を楽しむ特設コーナー」で協働します！お楽しみに…♪